



協会会報が読める診療待合室

東京医科歯科大病院の老年病内科

診察を待つ患者さんが協会会報「リビング・ウイル」を開いていた。診療待合室には会報最新号やバックナンバーが並び、協会の存在をアピールして心強い。

東京・JR御茶ノ水駅前にある国立東京医科歯科大学の医学部附属病院。4階にある内科外来のなかで「老年病内科」を受け持つ2つの診察室前の光景だ。同科の下門顕太郎教授は協会のLW受容協力医師。「協会の存在や活動内容を知ってもらうには、会報を読んでもらった方がよい」と7月から待合室の2か所に会報が置かれた。

大学病院の待合室で会報を通じて協会の存在が広がるとは、うれしい限りだ。日本老年医学会が「胃ろう中止も選択肢」を内容とする立場表明をするなど、このところ、老年医学と尊厳死が共感しあう場面が増えている。

協会の会員は12万4643人です(9月10日現在)

主な内容

- 協会運営の方針……………2頁
- 世界会議報告……………4頁
- 最近、元気な老年医療……………5頁
- 本棚遊泳……………8頁
- アラカルト2題……………9頁
- 支部のページ……………12~31頁

関西 支部

支部長
長尾 和宏

住所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-46 新大阪北ビル702号
TEL 06-4866-6365 メール kansai@songenshi-kyokai.com
FAX 06-4866-6375 ホームページ http://www.songen-ks.jp

■■■ 歴史のまち和歌山で13年ぶりの開催 ■■■

日本尊厳死協会関西支部大会（参加費無料）

日時 平成24年10月7日(日) 13時30分～16時30分

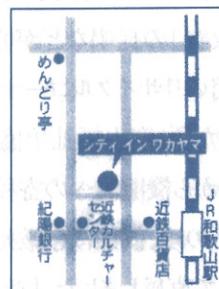
場所 シティインわかやま 新館3階(JR和歌山駅中央口出て右手に5分)

内容

1. 総会 13時30分～

2. 特別講演 「健やかに生き、安らかに逝くために」 14時～
くさかべ よう
講師 久坂部 羊氏(医師=在宅医・作家)

3. 懇談会 15時40分～16時30分



【著書】「日本人の死に時、そんなに長生きしたいですか」「大学病院の裏は墓場」「廃用身」「破裂」「無痛」等衝撃のベストセラー作家

アクセス JR和歌山駅 徒歩5分

JR天王寺駅から70分(快速) JR御坊駅から60分(普通)

皆さん10月7日(日)和歌山でお会いしましょう お待ちしています!

「長尾副理事長のブログ」より

フィレンツェから 日本を想う



「死の権利・世界大会」が6月、スイスのチューリッヒで開催され参加した。

その帰り道、イタリアのフィレンツェに立ち寄りました。日本の室町時代に、フィレンツェではルネッサンスが始まりました。

シニョリーア広場の屋外彫刻が、私には京都の東寺の立体曼陀羅に見えました。どうしてもミケランジェロと空海が、私にはダブって見えてしまい、室町時代の、西洋と東洋のシンクロニシティーを感じました。

イタリアでは、医療機関を健康保険で受診するには

3～6か月待ちでした。

歯が痛い時には、高い自費を払えばすぐに診てくれます。実際9か月待ちで婦人科の手術をしたという女性と少し話しました。待ちに待ったが医療費、手術費は確かに無料だったと。

イタリアでも胃ろうの中止が話題になっていました。長寿に伴う諸問題は世界共通なんですね。

今回の海外出張で世界各国の終末期事情を肌で感じました。

世界の尊厳死運動とは、まさに人間復興、ルネッサンスそのものと確信しました。しかし、フィレンツェでも1000年もかかりました。いくら時間がかかっても、医療のルネッサンスも必要。皆さんとともにミケランジェロのように黙々と彫刻を彫り続けるのみ。思い上がりかもしれませんがフィレンツェで、そう確信しました。

「エンドレスメッセージ」

「サロン」での
来客との対話から

副支部長 支部理事 二松 康



関西支部では毎週火曜日の午後に、支部理事が輪番で出務し来客の相談に応えることにしており、特に第二火曜日は「サロン」と名付けて複数の支部理事で来客対応を図ることにしております。

先日、脳梗塞を経験した老母と暮らす会員女性が来訪され、お母様が信頼する開業医が老齢になり往診ができないので、往診して下さる医師を探している由。

近くに医院は無く、開業医と総合病院は車で20分の距離で救急で搬送されるとリビング・ウイルが役に立たないと聞いているので困っているとの相談でした。

それで、悲しいことではあったのですが私の身内の事例を話すことになりました。それは救急車で総合病院に運ばれ人工呼吸が開始された折に、医師に本人のリビング・ウイルを告げ説明したところ、了承され安らかに命を終えることができたことと、医師から署名を求められた書面についてでした。

書面は「手術・検査・治療等説明書2」内容は、1) 運動ニューロン病の終末期で、呼吸器感染を契機に呼吸不全の憎悪を来している。2) 現在用手的人工呼吸により、意識レベルの改善をみとめるが、この処置を中止すると、再び意識障害が生じて、生命にかかわることとなる。3) 生命を助けるためには、人工呼吸器を装着する必要があるが、家族の総意としてこれを希望しない。4) その他、延命のための治療を家族の総意として一切希望しない。5) 家族の希望としては、出来るだけ苦痛を取り除く処置を最優先してほしい。上記の説明を全て了解いたしました。日時、病院名、医師名に家族続柄・氏名となっております。

来訪された女性は救急搬送の場合でもリビング・ウイルを尊重してもらえることがありえると知り、来たかいがあったと帰途につかれました。

(次回は宮城昌平相談役)

出前講座 雑感

「参加者皆さんの熱意に教えられ」

支部理事 畑中治朗

さる6月24日、豊岡市民プラザで県鍼灸マッサージ師会主催、県民健康講座の一環として『人生の晩節を全うするために』のテーマで開催。会員、一般市民、開業医も含めて41名の方が参加されました。

家族間で意見が分かれた場合は…、認知症になった時意思を伝えるには…など、具体的な質問もあり、参加者皆さんの熱意に教えられました。

アンケートの結果「知らなかった」「初めて聴いた」「関心がある」の回答が多くあり、今後もご要望、ご連絡があればいつでも出向きたいと思っています。

新企画

大阪講演会のお知らせ

日時 平成24年12月8日(土) 14時～16時

会場 大阪コロナホテル(定員150名)

演題 **平穏死・10の条件**

同名の本が7月発売以来ベストセラー

講師 **長尾 和宏**(長尾クリニック病院長)

日本尊厳死協会副理事長、関西支部長

会費 無料(会員以外の方も大歓迎)

申込 関西支部宛 お名前(会員の有無)と人数をメール、Fax、電話のいずれかで。

アクセス JR新大阪駅(東海道線)東出入口から東口へ。

北側出口から地上に降りて徒歩200m。

後援 産経新聞社



お願い

本誌同封のハガキは新会員勧誘用です。ご紹介頂いた方に入会資料等をお送りします。